

2010年3月期 連結決算 および 業績見通し

2010年4月28日



JFE商事 ホールディングス 株式会社

- 1 . 2010年3月期連結決算のポイント
- 2 . 連結損益計算書
- 3 . 連結貸借対照表(要約)
- 4 . 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)
- 5 . セグメント情報
- 6 . 2011年3月期 連結業績予想及び配当予想
- 7 . 〈参考〉第二次中期経営計画(09～11年度)
- 8 . 〈参考〉売上高・経常利益推移(連結)

1. 2010年3月期 連結決算のポイント

売上高は鋼材需要の回復が緩やかな伸びに留まり、販売数量の減少・価格下落により前期比で 8,947億円減収の1兆8,119億円。

経常利益は、JFE商事単体の減益(116億円)を始め国内外の多くのグループ会社が減益となった事により、前期比 245億円減益の145億円。

当期純利益は、経常利益 245億円の減益に法人税等や少数株主損益の増減を加味した結果、前期比 123億円減益の75億円

2. 連結損益計算書

(億円)

	当 期	前 期	増減(累計-前年同期)	
			増減	増減率
売上高	18,119	27,066	8,947	33%
売上総利益	649	967	318	33%
(利益率)	(3.6%)	(3.6%)	(0.0%)	
販管費	498	565	67	12%
営業利益	151	402	251	62%
営業外損益	6	12	6	
経常利益	145	390	245	63%
特別損益	-	29	29	
税引前 当期純利益	145	361	216	60%
当期純利益	75	198	123	62%

売上高・売上総利益

JFE商事(単独)	6,824	114
・鉄鋼	3,700	90
・原材料・資機材	3,124	24
建材・鋼管分社3社	1,633	49
国内子会社	1,012	74
海外子会社	829	70
HD、分割3社	206	136
連結修正	+1,557	+125

販売費及び一般管理費

人件費、一般経費、販売費の減

営業外損益

金利収支の改善、債権売却損の減 等

特別損失

当期：無し

前期：投資有価証券評価損、
棚卸資産評価損、固定資産減損損失 等

3. 連結貸借対照表(要約)

(億円)

	当期末	前年度末	増減
総資産	5,268	6,355	1,087
純資産	1,071	1,147	76
有利子負債	1,081	1,478	397
有利子負債倍率 (DER)	1.06倍	1.36倍	0.30倍
自己資本比率	19.4%	17.1%	2.3%

有利子負債

在庫の圧縮や取引の減による運転資金の減少等により、前期末比 397億円減の1,081億円。

J商： 318 (長短借入の減)
海外子会社： 76 (内、為替による影響 +13) 他

総資産

棚卸資産や手元資金の圧縮を進めた事に加え、取引の減少や価格の下落に伴う売上債権の減少等により、前期末比 1,087億円減の5,268億円。

現預金 364
売上債権 444：J商 125、建材・鋼管分社3社 381 他
棚卸資産 300：J商 107、国内子会社 89
海外子会社 98 他

純資産

〈76億円の内訳〉

～増加～ 当期純利益 75億円
評価・換算差額 59億円
～減少～ 優先株一括償還 185億円
支払配当 14億円
少数株主持分 11億円

利益剰余金： 124 (純利益 +75、支払配当 14、
優先株消却 185)
評価・換算： + 59 (株式 +41、為替 + 15) 他
少数株主： 11

有利子負債倍率(DER)

= 有利子負債 ÷ (純資産 - 少数株主持分)

自己資本比率

= (純資産 - 少数株主持分) ÷ 総資産

4. 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(億円)

	当 期
営業活動によるCF	272
投資活動によるCF	30
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	242
財務活動によるCF	623
現金及び現金同等物の増減	381
現金及び現金同等物(期首)	616
現金及び現金同等物(期末)	242

営業活動によるCF

税前利益	+ 145
減価償却	+ 59
営業立替の増	147
在庫の減	+ 300
法人税等の 支払及び還付	99 他

投資活動によるCF

有形固定資産の取得	25
無形固定資産の取得	13
短期貸付金の回収	+8 他

財務活動によるCF

借入金を増減	411 (短期 396、長期 15)
配当金の支払 (HD)	14
優先株の買取	185 他

5. セグメント情報 (鉄鋼および鉄鋼周辺)

(億円)

	売上高			営業利益		
	当期	前期	増減	当期	前期	増減
鉄鋼および鉄鋼周辺	17,789	26,664	8,875	146	401	255

【営業利益の減 255億円の主な内訳】～鉄鋼および鉄鋼周辺～

JFE商事 105億円

国内鉄鋼：数量 1,403千ト、単価 13.1千円/ト

鉄鋼貿易：数量 +1,459千ト、単価 384ドル/ト、USD平均レート(4月～3月) 100.8円 93.5円)

原材料：鉄鋼原料およびコークスの価格下落により減収減益。

グループ会社 150億円

国内子会社： 82 (建材・鋼管分社 3社 34、その他国内子会社 48)

海外子会社： 61 (海外鋼材加工センター 23、その他海外子会社 38) 他

販売数量の拡大と収益力の向上に努めたが、鋼材需要の回復は緩やかな伸びに留まったため、販売数量の減少、価格下落により、減収減益。

5. セグメント情報 (鉄鋼以外)



(億円)

セグメント	売上高			営業利益			主な内訳
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
食品	253	302	49	6	4	2	冷凍水産物や中国産農産加工品の取り扱い数量が減少したものの、第3のビール「プライムドラフト」が引き続き好調であったことに加えて、大手量販店を中心に「ノザキのコンビーフ」の拡販活動に努めたことから、減収増益。
半導体	72	95	23	2	1	1	主力であるカラー複合機等事務機器向け半導体の取引が減少したものの、液晶パネル用ICや光通信機器用ICの取引が安定して推移したこと。また、アジア市場向けに光通信用ICの販売を開始するなど新規・高付加価値商材の立ち上げに注力したことから、減収増益。
不動産	5	5	0	2	4	2	保有不動産の売却に取り組む。

6. 2011年3月期 連結業績及び配当予想



【概要】

国内では土木・建築分野など純内需向けにおいて依然低迷が続くものの、自動車向けなど外需に牽引された製造業では回復傾向が続き、産業機械・建設機械向けも底入れするものと思われる。

また、輸出向けが引き続き堅調に推移すると想定されることから、鉄鋼需要は回復が進むものと予想。

但し、中国およびアジア諸国における鋼材生産能力の増強に伴う需給環境の軟化が懸念されることから、今後の状況を注視する必要があると考える。

次期の連結業績見通しは、需要回復による取扱数量の増加に加え、グループを挙げた既存取引先への販売数量の最大化や新規取引先などへの拡販、一般経費などのコスト削減に取り組むことにより、売上高は2兆1,800億円、営業利益は255億円、経常利益は250億円、当期利益は155億円を見込む。

配当は、株主への継続的な利益還元について留意し、1株当たり10円の年間配当を予定。

6. 2011年3月期 連結業績及び配当予想

(億円)

	11.3期	10.3期	増減(通期比較)	
	予想	実績	金額	率(%)
売上高	21,800	18,119	3,681	20%
営業利益	255	151	104	69%
経常利益	250	145	105	72%
当期純利益	155	75	80	107%

1株当たり配当	10円	* 5円
---------	-----	------

* 期末で実施

7. 《参考》第二次中期経営計画(09～11年度)

JFE商事グループ第二次中期経営計画 (2009年4月～2012年3月)

経営ビジョン

「企業としての基盤部分を含めた全ての面でトップレベルのエクセレントカンパニーを目指す」

4つの重点経営課題

「収益基盤の更なる強化」 **中長期的に増大する鉄鋼需要への施策**

「人材の育成・強化」

「グループとしての新たな企業風土の確立」

「CSR活動の強化と経営インフラの整備」

海外における施策

需要家のニーズに即応した鋼材加工センターの新設・機能拡充

日系企業のみならず海外企業への拡販

原材料分野における新規仕入ソースの開拓

JFE商事の主な取り組み

業務改革活動

従来の手法や概念にとらわれない発想で業務の見直し・改善を実施し、効率化を進める活動

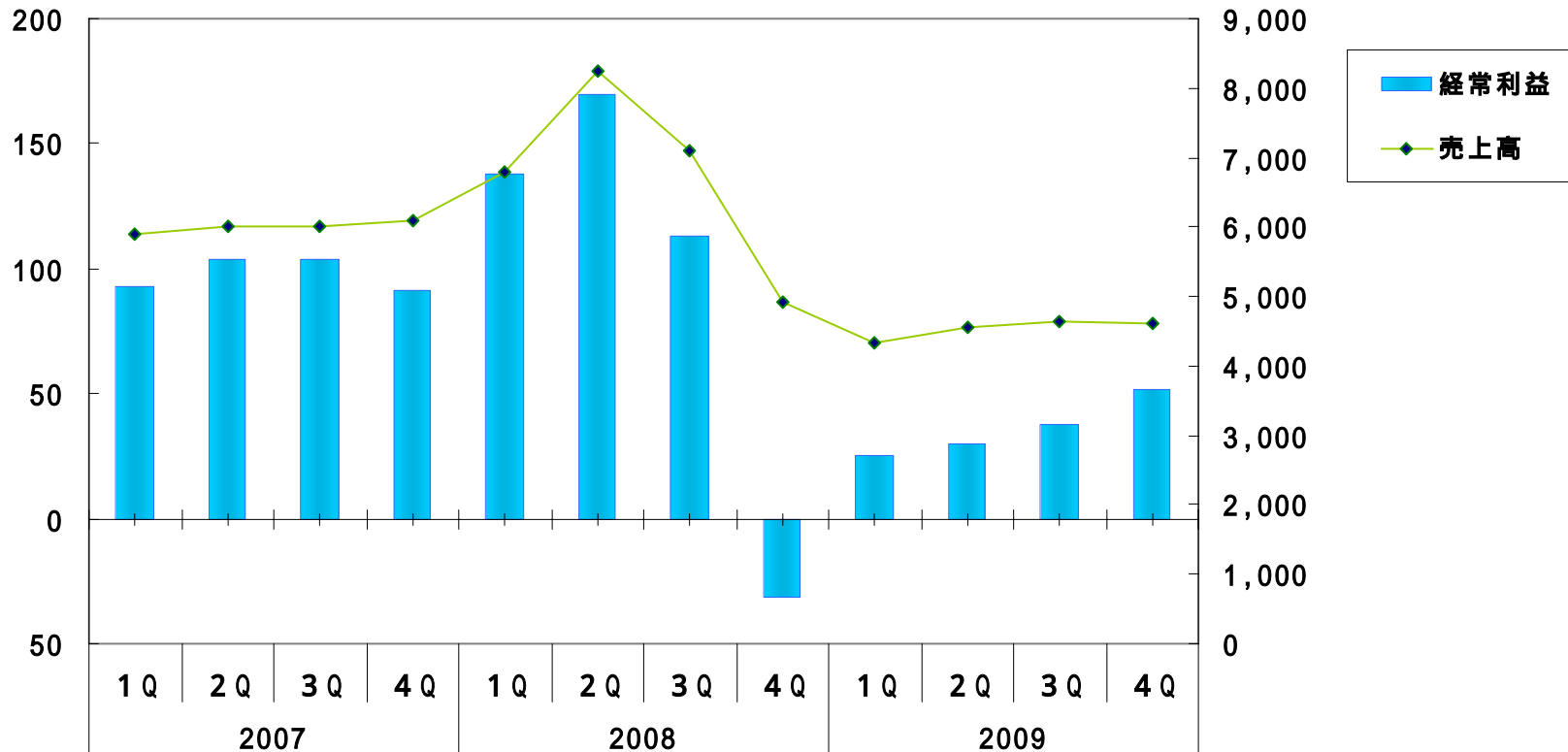
「J-SLIM」を推進中。

全社員が会社の制度や業務プロセスを改めて検討するとともに、テレビ会議などのインフラ整備もあわせて進める。透明性が高く風通しの良い企業風土を定着させ、今後より一層収益力の向上に取り組んでいく。

8. 《参考》 売上高・経常利益推移 (連結)

(経常利益 / 億円)

(売上高 / 億円)



(億円)

	2007年度				2008年度				2009年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	5,909	6,013	6,022	6,103	6,793	8,245	7,110	4,918	4,320	4,551	4,629	4,619
経常利益	93	104	104	91	138	170	113	31	25	30	38	52



JFE

* 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって見通しと異なる場合があります。